

令和5年度(2023年度)学校教育目標

学ぶ喜び、つながる喜び、働く喜びを実感できるチーム伊倉の仲間づくり



玉名市立伊倉小学校だより 第22号

発行 校長 福田 賢一

道具を大事・大切に作る心

昨年11月30日付けで県教育長宛てに「野球グローブ用のクリーム」の配付(県内の全小学校及び特別支援学校の小学部に対して)について文書で申し出が 있었습니다。

これは熊本市北区にお住まいの立石守さんからです。そこには次のような文章がありました。

私は、この度、大谷翔平選手が全国の小学校に野球のグローブを寄付する話を聞き、私自身もなにかできないかと考えました。

そこで、子どもたちに道具(グローブ)を大事にする心を育ててほしいと思い、今回「野球グローブ用のクリーム」を寄付することにしました。



これは正しく大谷翔平選手が花巻東高校1年時に立てた目標達成シートの一部にあった

「道具を大切に使う」を具現化するものです。先日、本校の4年生も将来の目標へ向けて自分のがんばることを考えました。目標達成に向けてがんばる人は、応援される人になれるでしょう。道具を大事・大切に使う人は、道具にも感謝できるでしょう。立石さんへの感謝の気持ちも忘れることなく、道具を大事にする心を育ててほしいとの思いに応えられる伊倉っ子でありたいものです。立石さん、大変ありがとうございました。

伊倉っ子シンポジウム

2月22日14:10～本校体育館

テーマ・めあては「伊倉っ子の健康課題(体力・健康度)について考えよう」です。伊倉っ子が自らの生活や健康の現状を知り、より健康で安全な生活を送れるようにすることをねらいとしています。

令和4年度学校評価からメディアコントロールについて児童、保護者、教職員の三者が共に学び合う機会を設ける必要性が確認できました。

そこで、児童の主体的な児童会委員会活動の取組を提案事項としながら学校運営協議会の主催のもとPTA教育講演会に代えて実施するものです。

教育課程上の位置づけとしては学校行事の健康安全・体育的行事です。

期待される教育効果としては、次の目指す児童像の具現化と保護者啓発に資するものです。

- 課題の解決に向け、仲間とともに主体的・対話的に深く学ぶ児童(知育)
- 自分の大切さとともに相手を大切に思う豊かな心を持った児童(徳育)
- 自ら心身の健康保持増進に努める資質・能力を持った児童(体育)

保護者の皆様からも積極的な発言をお願いしたいと思います。多数のご参加をお待ちしています。